

# 東名古屋病院だより

平成28年1月発行 第64号



本年の御来光は晴天に恵まれました

## 理 念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

## 基本方針

1. 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
2. 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
3. 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
4. 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。

## 目 次

2 P : 巻頭言  
3 P : 病気とのつきあい方  
4 P : 看護部紹介  
5 P : 部署紹介  
6 P : 医師紹介、新年のご挨拶

7 P : 情報提供(60年ぶりの法改正 診療放射線技師法)  
8 P : トピックス  
(第11回東名セミナーを開催しました)  
9 P : 地域医療連携室、クリスマスコンサート  
10 P : 外来案内、外来診察担当医表



独立行政法人 国立病院機構  
**東名古屋病院**  
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION  
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL



〒465-8620  
名古屋市名東区梅森坂5-101  
TEL 052-801-1151  
FAX 052-801-1160  
ホームページアドレス  
<http://www.tomei-nho.jp/>

# 巻頭言

## 新年のごあいさつ



看護部長 服部 みほ

皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は例年になく暖かい冬の始まりでした。

私も、東名古屋病院に赴任して3年になります。この機会に3年間の東名古屋病院の軌跡を少し振り返ってみたいと思います。

平成25年度は、「ぬくもりサポート館」が完成した年でした。様々なことがあり、準備期間は約4年と長期に渡り、私は最後の美味しいところを引き継がせて頂きました。25年12月21日の引っ越しは、天候に恵まれ、スムーズに終了しました。稼働後丸2年、当初誓った「精一杯ぬくもりのある医療を提供したい」という気持ちで、職員一同日々努力してまいりました。神経難病、重症心身障害児・者、リハビリテーション医療と、どの領域も当院の強みであり宝です。同時期に移植したヒポクラテスの樹も、いまま変わらず元気よく凛とした姿で見守ってくれています。

明けて26年3月には東3病棟（神経難病）を閉棟しました。ぬくもりサポート館の南1病棟（神経難病）を60床フル稼働させるためでした。患者・家族の方にはご迷惑をおかけしましたが、トラブルなくスムーズな閉棟で、スタッフの団結力のすばらしさ、患者・家族の方との良好な関係が良くわかる締め括りだったと思います。

26年11月、野浪敏明院長が就任され、外科の手術件数が増加しました。特に腹腔鏡下の手術が増え、肝臓切除術、臍頭十二指腸切除術など大きな手術も行っています。

27年2月は、日本医療機能評価を受審（一般病院1 3rdG.Ver.1.1）しました。

更なる医療の質の向上を目指して取り組みま

した。認定を取得した誇らしい気持ちと共に、常に質の確保が維持されるように気持ちを引き締めなければと思います。

同年3月は、東7病棟（結核）を閉棟しました。当院の結核医療の歴史は古く大正11年にまで遡り、最盛期は1000床近くあったのですが、閉棟当時は西6病棟60床と東7病棟56床の全116床で稼働していました。約100年で10分の1に減少したことになります。そして、26年の後半からさらに患者数が減少したため閉棟に踏み切り、西6病棟の60床のみでの運営となりました。それでも、愛知県では一番多く病床を持っています。今後も、日本で2番目に結核患者が多い名古屋市にある拠点病院として、最後の砦として役割を果たしていきたいと思います。

27年4月から、新たに退院調整看護師長を地域医療連携室に配置し、副看護師長と協力しながら、退院前訪問を行っています。退院当日に訪問を行い、お困りになる事がないか確認しています。現在17件ですが今後も増やしていきます。連携室は、地域連携係長の看護師長を入れると看護職が3名になりました。その強みを生かし、地域包括システムの中で、東名古屋病院らしい役割が果たせることを意識し、切れ目のない医療・看護の提供に努めてまいります。

現在当院は、新棟建て替えの実現に向けて、経営改善に取り組んでいます。設計図も練り上がり、本部の審判を待っているところです。今後も、激動の時代と調和していける病院づくりを目指して努力してまいります。院内で出会った際は、お気軽にお声かけください。今後ともよろしくお願いいたします。

# 病気とのつきあい方

## 起立性調節障害

～朝起きられない子どもたち～

あなたの身の回りに、朝なかなか起きられず学校生活に支障を来しているお子さんはいませんか？はたから見てると怠けているとしか思えませんが、実は「起立性調節障害」という病気かもしれません。

起立性調節障害とは、思春期に差し掛かって身体が大きく変化するころに、自律神経の調節が悪くなって様々な症状を引き起こす病気です。朝起きられない、全身倦怠感、食欲不振、立ちくらみ、長く立っていると気分が悪くなったり倒れてしまう、などの症状が特に午前中に強く出ます。午後からは次第に元気になり、夜には普通に生活できますが、また翌朝になると症状がぶり返します。

わたしたちは、横になっている姿勢から立ち上がると、ごくわずかの時間血圧が下がり脈が速くなりますが、すぐに回復し、その後はむしろ少し血圧を上げることで脳に血液が十分送り込まれるように調節します。同時に足や腹部の静脈を収縮させて、血液が体の下のほうに溜まらないようにします。これらのしくみを動かしているのが自律神経です。

自律神経は脳で調節していますが、思春期の体の変化、遺伝的体質、精神的ストレスなどでバランスを崩すと起立性調節障害となります。

起立性調節障害は珍しい病気ではなく、また最近増えている病気です。小学校の高学年から多くなり、中学生・高校生では急増します。ただし、そのほとんどは日常生活に支障が出るほどではなく、大人になると自然に治ってしまいます。

学校に登校できなくなるほどの重症では、医療機関の受診をお勧めします。甲状腺機能低下



小児科医長 濱口 典子

症や鉄欠乏性貧血などのよく似た症状の別の病気ではないか検討すると同時に、詳しい症状の聞き取りと、起立試験を行って診断を確定します。

起立試験は静かに10分間横になったあと、10分間起立してその間の血圧や脈の変化を観察します。起立性調節障害には立ち上がると血圧がしばらく下がるタイプ以外に、血圧は下がらないが脈だけ早くなるタイプ、立っていると突然血圧がストンと下がるタイプなどがあり、起立試験でどのタイプかを調べます。

起立性調節障害の治療で大切なのは、この症状は気持ちの持ちようで起きるものではなく、本人の意思ではどうしようもない病気である、ということをも本人、家族、学校がよく理解することです。1日の生活の中では朝が最も調子が悪いのですが、徐々に自律神経の調節が整ってくると症状は軽くなっていき、夜にはすっかり元気になるので、一見学校に行きたくないからの怠け病に誤解されがちです。実際に症状があっても身体がづらいのに周囲の理解がないと心理的ストレスとなり、脳の自律神経中枢に負担となってさらに調節が悪くなる、という悪循環に陥ってしまいます。

急に立ち上がらない、とくに頭を上げないように前かがみの姿勢をとる、血圧を上げるために水分・塩分を多めにとる、難しいですが生活リズムを整える、軽い運動をする、などとともに薬物療法を受けることで症状を緩和することができます。「怠け病」と勘違いしないで正しい診断・治療を受けるためにも、この病気のことを多くの方に知っていただきたいと思います。

## 看護部紹介

### 神経内科病棟

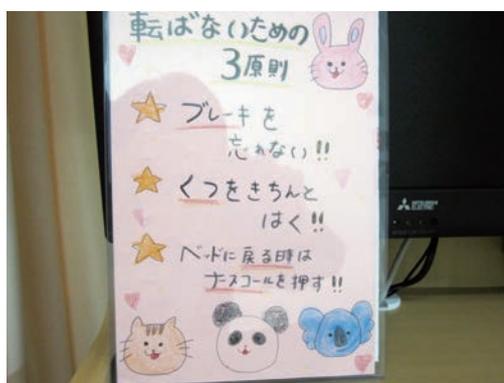


西3階病棟看護師長 吉田 久美

2年前に新館が増設されましたが当病棟は本館3階に位置しており病床数50床の神経内科病棟です。入院患者さんは神経難病の患者さんを主に受けております。当病棟に入院される神経難病疾患はパーキンソン病、筋萎縮性硬化症、進行性核上性麻痺、多系統委縮症などがあります。これらの疾患の特徴は緩徐ではありますが、認知・運動（排泄機能含む）・嚥下・呼吸等の機能低下をきたしてきます。当病棟に入院する患者さんはこれらの機能の精査目的を兼ねての薬物コントロール、理学療法や作業療法や言語聴覚療法などのリハビリを受けています。リハビリは入院生活の中でも活かされるように、食事摂取方法や歩行時の注意点をセラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）より確認しながら病棟での生活に取り入れております。内服のコントロールでは、ADLチェック表を患者さんに渡し自覚症状の記入をお願いしております。それを参考に、主治医・薬剤師と相談しながら服用時間や投与量の変更をしながらその人らしい生活に近づくことができるように努力をしております。

先に述べたように、神経難病疾患の患者さんの多くは、緩徐ではありますが認知・運動（排泄機能含む）・嚥下・呼吸等の機能低下をきたしてきます。日常生活に影響を及ぼすため、以前は出来ていたことも出来なくなることで、介護に人手を要し、経済的・精神的負担が大きいものです。このような大変な疾患を抱えている患者さんやご家族に病気の経過や予後への不安に向き合い、日々温かい看護が提供できるように心がけております。

そして、長期にわたり患者さんを介護していくご家族の為、在宅支援に向け介護支援やご家族の介護疲労軽減のための入院を受け入れております。また、私たち病棟看護師は入院中の効果が維持できるように、在宅でもできるリハビリの内容やケアの提供に力を注いでおります。



神経難病の患者さん以外では、脳卒中後遺症の方が回復期リハビリ入院を目的に転院をされて来ます。入院時には患者さんとご家族そして、医師・看護師・薬剤師・セラピスト・医療相談員のメンバーで今後の予定を説明する入院カンファレンスを開催します。回復期リハビリ病棟へ転棟するまでの、数日から数週間を当病棟で過ごして頂き、精査を受けながらリハビリを受けて頂きます。入院生活の中で転倒することによりリハビリが遅れることにつながるため、特に転倒には注意を払っております。



## 部署紹介

### リハビリテーション部(作業療法)の紹介



作業療法士長 藤部 百代

当院のリハビリテーション科には理学療法(PT)・作業療法(OT)・言語療法(ST)の3つの部門があります。ここでは作業療法についてお話しします。



作業療法は、身体や精神のご病気や脳の損傷によっておこる高次機能障害などで日常生活に支障がでてしまった方が快適に自分らしく生活できるようにお手伝いするリハビリテーションの一つの分野です。『自分らしく生活する』というのはどのようなことでしょうか。人はそれぞれ生活スタイルが異なっており、その中で『父』『母』『社会人』『主婦』『町内会のメンバー』などの様々な役割を担いながら生活しています。元気な時には特に気にもせず生活しているのですが、病気やけがなどによりリハビリテーションを始めると、たくさんの『毎日していること』『したいこと』『しなければならないこと』に気づきます。作業療法では、身体の機能回復をめざすだけでなく、私たちの毎日の生活のなかの多くの活動、たとえばご飯を食べたりトイレに行ったり着替えをしたりお風呂に入ったりといったことや、職場に行ったり、喫茶店に行ったり、友人とおしゃべりしたりということが、病気になる前とできるだけ同じように継続できるように、リハビリ訓練のなかに盛り込んでいきます。作業療法訓練は、まずご飯を食べたり、着替えたりといった身の回りの動作の練習から始まります。それから徐々にその人の生活に即した活動を意識して訓練が変化します。たとえば、家事をしなければならない方であれば、包丁の使い方の練習や、実際



に料理を作って確認することもあります。掃除機をかける練習や洗濯物を干す練習など、その方の生活に照らしあわせてみていくと、練習しなければならないことはたくさんあるのです。さらにその方の仕事や趣味や楽しみにしていたこともできるだけ継続してできるように練習したり道具ややり方を工夫したりしていきます。身の回りのことだけができるようになればいいのではなく、病気になる前の生活を続けていけるようにすることが『自分らしく生活する』ことだと考えています。

『自分らしく』は十人十色です。お一人お一人の今迄の生活について、それぞれお話を伺いながら患者様ご家族様と一緒に家庭復帰後の生活をもう一度組み立てていけるようお手伝いしています。したがって作業療法で行われている訓練は多岐にわたります。身体を動かしながら、動きや筋力を回復させる訓練もありますが、指先の細かい動きの練習、箸や鉛筆のようなとても細かい動きの練習、頭の体操のようなパズルや計算問題、着替えやトイレの動作の練習、実際に浴槽に入る練習や料理をつくること…など、患者様一人一人の生活にあわせて訓練を行っています。また退院前に理学療法士とともにご自宅に訪問し、退院後の生活が安全にできるようご家族を含めて練習や指導を行っています。



作業療法は同じリハビリテーション科のなかでも、少しわかりにくい部門かもしれませんが、ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。



## 医師紹介



小児科医師 武藤亜紀子

12月1日より常勤小児科医となりました。

主に重症身障害児(者)病棟である北1病棟を中心に診療を行っています。障害をかかえた患者様と向き合い、当たり前の日常生活を大切にすごしています。

北1病棟は長期入所の方から、短期入所の方まで年齢や疾患も様々です。患者様にとって必要かつ確かな医療の提供を、そして支えてくれるスタッフにとっては働きやすい病棟であるようにつとめていきたいと思えます。

## 新年のご挨拶



旧年中は当院事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます

本年も地域の医療・福祉の向上に精励努力いたしますのでご指導 ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます

平成二十八年 元旦

独立行政法人国立病院機構東名古屋病院

院	長	野	浪	敏	明									
副	院	長	小	川	賢	二								
臨	床	研	究	部	長	岡	村	菊	夫					
統	括	診	療	部	長	犬	飼		晃					
外	科	系	診	療	部	長	加	藤	俊	之				
リ	ハ	ビ	リ	テ	ー	シ	ョ	ン	部	長	饗	場	郁	子
看	護	部	長	服	部	み	彥							
職	員	一	同											

## 60年ぶりの法改正 診療放射線技師法



診療放射線技師長 東山 隆志

放射線科はコメディカルの中でも法規制の縛りが強い部門のひとつである。

放射線（エックス線）は人類に多大なる利益をもたらしているが、その扱いを誤れば、人体に不要な影響、いわゆる放射線障害を与えることも事実であり、その意味でも、適切な安全管理が求められる。その放射線管理に一定の基準、すなわち遵守事項や数値的限度を与えるものが関係法令であるが、放射線を利用する形態により関係する法律が一樣ではない。

以下に関連する法律を挙げる。

- 医療法
- 労働安全衛生法（国の場合は人事院規則）
- 放射線障害防止法
- 診療放射線技師法

「医療法」は医療分野（患者）での放射線管理を定めた医療法施行規則があり、「労働安全衛生法」に関しては、放射線を業務として扱う労働者（放射線診療従事者：ガラス線量計で被ばく管理をする者）の安全と健康を確保する目的から定められた「電離放射線障害防止規則」がある。また放射線障害防止法については、放射線発生装置（放射線治療）や放射性同位元素（研究用アイソトープ）の取り扱いを規定したものである。これらの法律では放射線装置（MRI装置も含む）を新たに設置したり、更新したりする場合または放射線装置を据え付ける部屋を新設したり移設したりする場合において申請手続が義務づけられる。

最後に診療放射線技師法である。まさに我々の神髄であり診療放射線技師としての職制や免許制度を定めたものである。このたび60年ぶり

に（正確には64年）診療放射線技師法施行規則の一部改正が公布（平成26年6月25日）され、平成27年4月1日より施行された。具体的内容は、診療放射線技師の業務拡大である。

### CT、MRI検査

- 1.a 留置針（サーフロ）と造影剤自動注入器が接続された状態で造影剤注入操作ができること。
- b 造影剤の投与が終了した後に抜針および止血を行うことができる

### 透視、CT検査

- 2.a 下部消化管検査（バリウム エネマ等）において肛門にカテーテルを挿入する行為
- b カテーテルから造影剤及び空気等（炭酸ガス）を注入する行為

### 放射線治療

- 3.a 画像誘導放射線治療（前立腺がん）のために肛門にカテーテルを挿入する行為
- b カテーテルから空気を吸引する行為

なお新たな業務を行うに当たっては、診療の補助として、医師または歯科医師の具体的な指示を受ける必要がある。また医療現場において検査等関連行為を実施する際には、医療機関や職能団体等が実施する教育・研修を受ける必要がある。

（参考）

公益社団法人日本診療放射線技師会（医政医発0331第2号）

「業務拡大に伴う講習会」平成27年11月29日

横井 里映 技師 修了

# トピックス

## 第11回東名セミナーを開催しました

庶務班長 廣内 雅樹



東名古屋病院が地域に開かれた病院に、また、患者さんや地域の皆様に親しまれる病院に生まれ変わろうとしていることをアピールし、地域の方や医療関係者の方々に役立つ、様々な医療情報を継続して発信することを目的として、10月31日(土)に第11回目の「東名セミナー」を開催しました。

メインテーマ：「消化器疾患診療の現状」

日時：平成27年10月31日(土) 13:20~16:30

場所：東名古屋病院 体育館

内容：講演①「膵臓病について」・・・愛知医科大学肝胆膵内科助教 小林 佑次

講演②「大腸がんについて」・・・当院外科医長 永田 博

健康フェア(健康チェックコーナー)



(健康フェア：健康相談)

今回は、「消化器疾患診療の現状」と題しまして、膵臓病と大腸がんの二つの講演を中心に、健康フェアも同時開催させていただきました。尚、健康フェアにつきましては、血管年齢チェックコーナーにおきまして大変な混雑になり、ご期待に添えなかったご参加の皆様にも、まずは深くお詫び申し上げます。当日は223名の皆様にご参加していただくことができ、職員一同、心からお礼申し上げます。

講演につきましては、野浪敏明院長の開会のご挨拶を皮切りに、愛知医科大学肝胆膵内科助教小林佑次先生をお招きし、一般には分かりにくい臓器である膵臓について、形状をタラコに例えるなど、非常にユニークで簡単かつ分かりやすい説明していただき膵炎・膵癌などのリスクについても実際のデータを上手く説明され、短い時間ながら要点がずっと頭に入ってくる非常に優れた講演をしていただきました。一方、当院永田外科医長の講演では、大腸がんについて実際の症例の具体的な説明があり、また腹腔鏡下直腸手術での手順など普段では聞くことのできない大変興味深い内容となりました。少し予定時間を超過しましたが、講師のがん治療に対する真摯な姿勢がひしひしと伝わってくる内容となりました。その後は、健康フェアに移らせていただき、講演者や当院医師・コメディカルによる医療相談や血管年齢測定、骨密度測定、バランスチェック、飲み込みチェック、もの忘れチェックなど、短い時間ではありましたが、盛りだくさんな内容で開催させていただくことができました。尚、健康フェアにつきましては例年5月に“みよしアイモール(イオン)”でも開催しております。ホームページ等にてお知らせいたしますので今後も御期待ください。

次回も職員一同、皆様に喜ばれるセミナーを目指しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 地域医療連携室

### 地域医療連携室について

皆様こんにちは、昨年10月号に引き続き地域医療連携室がおこなっている具体的な業務を紹介させていただきます。

当院は、超急性期以後の急性期医療、慢性期医療、回復期リハビリテーション医療、神経難病や結核などの専門医療を担当しています。特に、超急性期病院（名古屋第二赤十字病院、愛知医科大学病院）との病病連携においては、「顔の見える連携」を重視し紹介元の病院から直接当院の診療科担当医師に、電話で転院依頼を行うシステムとなっています。その中でも、名古屋第二赤十字病院との間に、「八事クロスネット」「ぷらむメディネット」のネットワーク連携システムを構築し、患者様の入院前及び退院後の診療録の一部が閲覧できるため、医師等が情報を共有しスムーズな転院が可能となっています。



経営企画室長 堀内 利恭

次に、診療所等との連携です。平成27年12月現在358件の診療所が連携システムに登録され月平均130件前後の紹介を受けており、今年度はH26年度と比較し増加傾向にあります。社会福祉施設との病福連携においては、主に、呼吸器の嚥下障害など、10施設の社会福祉施設と連携を図っています。平成25年2月から「地域包括ケアシステム勉強会」を計14回実施し近隣の開業医、社会福祉施設、在宅医療関係者など延634施設、延795名、当院職員延467名計1286名の関係者が参加し平成27年10月まで開催してきました。その間、当院の重視している「顔の見える連携」がよりいっそう深くなったことは言うまでもありません。平成28年1月からは、名東区在宅医療・介護支援事業の中に組み入れられ勉強会を「名東区なでしこの会教育研修会」として、当院で年2回程度実施する予定です。

## クリスマスコンサート

### クリスマスコンサートを開催しました。

平成27年12月23日(祝)当院外来ホール、同25日(金)ぬくもりサポート館1Fロビーにおきまして、「神の家族キリスト教会クリスチャンライフ」の皆様によるクリスマスコンサートが行われました。このコンサートは例年、クリスマスの時期になると開催させていただいております。当日はクリスチャンライフの皆様より、素敵なクリスマスソングの数々を披露して頂き、ご参加の患者様やお見舞いの方々の心の中にも、素敵なクリスマスをプレゼントしていただきました。



# 外 来 案 内

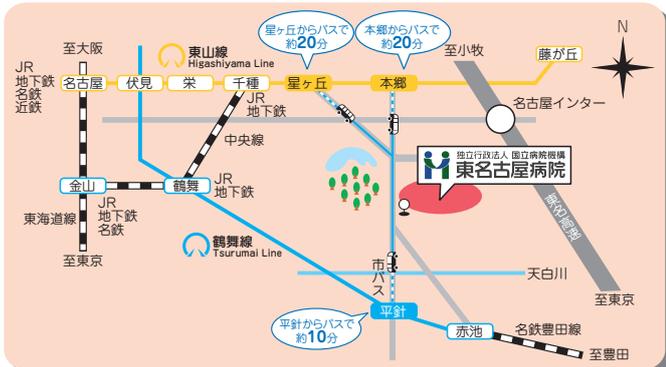
- 診療受付時間 午前8時30分～午前11時まで（緊急の場合はこの限りではありません）
- 診療開始時間 午前9時～
- 休 診 日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 初診時の特別料金 他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,160円（税込）をいただいております。ご了承下さい。  
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

## 外来診察担当医表

（平成28年1月1日現在）

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (初診)	足立 崇	中原 義夫	林 悠太	山田 憲隆 中川 拓 第1・3 第2・4・5	垂水 修
	垂水 修	清水 信	中原 義夫	足立 崇	林 悠太
	中川 拓	山田 憲隆	中川 拓 小川 賢二 第1・3 第2・4・5	小川 賢二	中村 俊信
循環器内科 (初診)	野田 浩範	野田 浩範	早野 真司	野田 浩範	西村 和之
神経内科	犬飼 晃	横川 ゆき	橋本 里奈 片山 泰司 第1・3 第2・4	饗場 郁子	齋藤由扶子
	饗場 郁子	片山 泰司	犬飼 晃	齋藤由扶子	榊原 聡子
	横川 ゆき		榊原 聡子	橋本 里奈	
消化器内科	横井 美咲	高橋 宏尚	高橋 宏尚 小林 慶子 (交代制)	小林 慶子	高橋 宏尚 小林 慶子 (交代制)
呼吸器外科			山田 勝雄		
外科・消化器外科	渡邊 正範	加藤 俊之 野浪 敏明	藤崎 宏之 野浪 敏明	永田 博 加藤 俊之	渡邊 正範
肛門外来	渡邊 正範	加藤 俊之	藤崎 宏之	永田 博	渡邊 正範
乳腺外科	遠藤登喜子 林 幸枝 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	遠藤登喜子 8:30～11:00, 13:30～15:30	小川 弘俊 13:30～15:30	遠藤登喜子 角田 伸行 8:30～11:00, 13:30～15:30
整形外科	金子真理子		大場 満成	金子真理子	(交代制)
リウマチ科			大場 満成		
脳神経外科					竹内 裕喜
泌尿器科	岡村 菊夫		青田 泰博 岡村 菊夫 13:30～15:30 女性泌尿器科外来		岡村 菊夫
精神科					宇佐美 敏
総合内科		龍華 朱音 10:00～11:00		内海 眞	
血液・腫瘍内科	神谷 悦功	朴 智栄	清水 一之 8:30～11:00, 13:30～15:30	神谷 悦功 小椋美知則 午前 午後(隔週)	龍華 朱音
禁煙外来		(予約制) 13:30～14:30			
内分泌内科				大竹 裕子	村瀬 孝司 伊藤 崇浩 山田 努 第1・3 第2・4 第5
小児科	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子	濱口 典子
皮膚科	加藤 愛	加藤 愛	加藤 愛	田中 伸 第4 12:45～14:45	加藤 愛
歯科口腔外科	奥村 秀則	奥村 秀則	奥村 秀則 菱田 純代 午前 午後(第3水曜休診)	奥村 秀則	奥村 秀則
ドック	外来人間ドック (予約制)				

※予約制は再来診の場合のみです。初診の場合は通常どおりの診療となります。  
 ※救急診療は、時間外・休日も行っていますので、時間外窓口にご連絡下さい。(052-801-1151)  
 ※当院では、隔週月曜日に外来人間ドック(予約制)を行っていますのでご利用下さい。  
 ※セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用下さい。  
 ※小児科・禁煙外来は完全予約制です。  
 ※女性泌尿器科外来・乳腺外科・血液・腫瘍内科 午後(隔週)の受付時間は15:30までとなっております。  
 ※月曜午後にアロマテラピー外来(予約制)を行っています。



- 地下鉄東山線星ヶ丘駅下車
  - ・市バス③番のりば 東名古屋病院行き 梅森荘行き } 約15～20分 東名古屋病院にて下車
  - ・星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 名鉄豊田新線・地下鉄鶴舞線赤池下車
  - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄鶴舞線平針下車
  - ・市バス①番のりば本郷行き約10分 東名古屋病院にて下車
  - ・タクシーにて約8分
- 地下鉄東山線本郷駅下車
  - ・市バス①番のりば地下鉄平針駅行き15～20分 東名古屋病院にて下車
- 東名高速道路名古屋インターより車で約20分